

平成 19 年度 江戸川区「行政評価」事務事業分析シート

整理番号 12

作成日 平成 19 年 7 月 6 日

事業名 民間子育てひろばへの補助事業
 所属名 子ども家庭部 子育て支援課 計画係 電話番号 (03) 5662-0659 (直通)

事業の目的・概要・対象者等

《事業の目的及び概要》
 【目的】子育てひろば事業を実施する団体に対し、事業経費の一部を補助することにより、事業の円滑な実施を支援します。「民間子育てひろば」は、子育て中の親が持つ不安・負担感を家庭的な雰囲気の中でスタッフが寄り添い関わりを持つことで取り除き、育児に対する活力を醸成します。

《事業の開始年度》 平成17年度

【NPO法人ファミリーセンター東京ベータル 「ベータルひろば」の概要】
 葛西駅徒歩7分(民間マンション一室) 週4日開催 参加費一人100円
 親子の交流の場の提供 相談 子育てに関する講座講習

【区人口・平成19年4月1日現在】 総世帯に占める、未就学の子どものいる世帯の割合
 《子育てひろば：区内19か所。葛西事務所管内9か所で実施。葛西事務所管内の未就学の子どものいる世帯は約14,000世帯です。》

対象者 約36,000世帯

活動指標

活動指標	延べ利用者数	活動指標	延べ開設日数
18年度	3,513人 (平均9.3組) (17年度) 4,529人 会場移転に伴い、一時的に利用人数が減少	18年度	181日 (17年度) 142日 利用者からの要望により、8月から土曜日開催

成果・目標指標

成果・目標指標	利用者数と相談件数	成果・目標指標	ニーズに応じた事業展開
18年度	3,513人 81件	21年度 目標 4,500人 100件	18年度 * ママの社会参加支援 (手づくりケーキによるコミュニティサロン開催) (利用者の特技を生かした、講座の開催) * ひろばの中での一時預かり など
説明	民間の特徴を生かした個々の親子との密接な関わりを求めて、多くの子育て中の親子が利用しています。スタッフは、子育てやその背景にある悩みの軽減に努め、より多くの親が子育ての楽しさを感じることができるよう支援しています。	21年度 目標	新しいひろば事業のあり方を検討し、地域や利用者のニーズに応じたサービスを提供します。 * 「出張ひろば」の実施 * 地域での世代を越えた継続的交流 など

経費の概要

18年度 事業実施経費 6,670千円

内訳
 開催日1日あたり、36,851円です。
 参加者一人あたりは、1,899円です。

【人件費と担当職員数】	ア 常勤職員	0.2人
1,673千円	イ 非常勤職員	0.0人
	ウ 臨時職員	0.0人

経費の説明
 補助金額4,997,000円のうち、60%が人件費、33%が会場の賃借料です。
 人件費は、常勤アドバイザー1名、非常勤アドバイザー7名分です。
 NPO法人が行った子育てひろば事業費のうち83%が「民間子育てひろば事業補助金」により賄われています。
 *平成18年度は会場の移転を行い、今後の安定した会場確保が可能となりました。区の目的であった、地域の子育て環境の基盤整備は整ったと考えられます。今後は区民への周知徹底により、利用促進を図ります。
 国より交付金1,946千円の歳入あり

その他

《実施の根拠となる法令等》 ・江戸川区民間子育てひろば事業補助要綱

《その他》 東京ベータルの子育てひろば事業と補助(国・都・区)との関係

- ・平成12年度 事業開始(NPO法人単独事業)
- ・平成14~16年 「親子よろこびのひろば事業」(財団法人こども未来財団)としてNPO法人が財団より直接助成を受ける。
- ・平成17年度 「次世代育成支援対策交付金(ソフト交付金)」(国制度)の交付を区が受け、補助事業を開始。
- ・平成19年度 「地域子育て支援拠点事業ひろば型」(国制度)補助制度に変更。 国1/3 都1/3 区1/3

平成19年度 江戸川区「行政評価」内部評価シート

整理番号	12	事業名	民間子育てひろばへの補助事業
所属名	子ども家庭部 子育て支援課 計画係		

所管課長評価

評価項目	評価及び評価の視点			所管課コメント
				
1 有効性	有効である	A	有効でない	区内19か所の子育てひろばのうち、民間団体が運営するひろばは1か所であり、その特長を活かした事業展開のためには区からの補助は有効である。
	・事業の目的を達成するために有効である。			
2 公平性	公平である	B	公平でない	事業実績報告を適正に審査し、補助が適切であるか検証を行っている。今後も地域や時代のニーズに応じた実施に見合う補助を検討していく必要があると考える。
	・対象者や実施回数等は適切である。 ・受益者負担の額は適切である。			
3 民間活力の活用	現状ままでよい	A	促進したほうがよい	この補助事業はまさしく民間活力の活用であり、事業実施団体のNPO法人と区が協働して事業を実施している。
	・ボランティアやNPOと協働して実施したほうがよい。 ・民間事業者へ委託等したほうがよい。			
4 効率性	現状ままでよい	B	改善の必要がある	地域のニーズに応える子育てひろば事業の運営のために、内容を工夫、改善し効率的な実施を考えていく必要がある。
	・効率的に実施するために、工夫、改善等の必要がある。 ・経費を削減できる。			
5 必要性	必要である	A	必要ない	区民の多種多様なニーズに対し、民間のノウハウやその特長を活かして柔軟に対応する「民間子育てひろば事業」の実施のためには、公費補助は必要である。
	・事業の目的を果たすためには公費を投じて実施すべき事業である。			

所管部長の意見等

「民間子育てひろば」は、家庭的な環境の中で利用者個々にきめ細かく対応し、地域の育児支援に貢献している。今後も、国や都の子育てひろば事業の動向や育児支援に対する区民ニーズ等を的確に把握し、適切な補助事業のあり方を検討し、充実させていく必要がある。

平成19年度 江戸川区「行政評価」外部評価シート

整理番号	12	事業名	民間子育てひろばへの補助事業
所属名	子ども家庭部 子育て支援課 計画係		

外部評価委員会評価

評価項目	評価及び・評価の視点			備考
1 有効性	有効である	A	有効でない	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の目的を達成するために有効である。
2 公平性	公平である	B	公平でない	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者や実施回数等は適切である。 ・受益者負担の額は適切である。
3 民間活力の活用	現状ままでよい	A	促進したほうがよい	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアやNPOと協働して実施したほうがよい。 ・民間事業者へ委託等したほうがよい。
4 効率性	現状ままでよい	A	改善の必要がある	<ul style="list-style-type: none"> ・効率的に実施するために、工夫、改善等の必要がある。 ・経費を削減できる。
5 必要性	必要である	A	必要ない	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の目的を果たすためには公費を投じて実施するべき事業である。

外部評価委員の各意見

・子どもが増加している江戸川区が、益々、子育てしやすい環境の場、支援の場が充実することを希望する。